

No.	性別	生年 (西暦)	医学的 所見	疾患名	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内ばく露 あり	エ. 立入・屋内環 境ばく露あり	オ. その他	ばく露歴 分類	経過観察 終了	備考
324	女	1950代	なし	なし					●	オ		
325	男	1950代	なし	なし					●	オ		
326	女	1930代	⑩	なし					●	オ		
327	男	1940代	⑩	なし					●	オ		
328	男	1950代	②⑧⑩	なし					●	オ		
329	女	1950代	⑩	なし					●	オ		
330	女	1950代	⑩	なし					●	オ		
331	女	1940代	⑨⑩	なし					●	オ		
332	女	1960代	⑩	なし					●	オ		
333	女	1960代	なし	なし					●	オ		
334	男	1950代	⑩	なし					●	オ		
335	女	1940代	⑩	なし					●	オ		
336	女	1970代	⑩	なし					●	オ		
337	女	1930代	⑩	なし					●	オ		
338	男	1950代	なし	なし					●	オ		
339	女	1940代	⑩	なし					●	オ		
340	男	1940代	なし	なし					●	オ		
341	女	1980代	なし	なし					●	オ		
342	女	1940代	⑩	なし					●	オ		
343	男	1920代	②⑩	なし					●	オ		
344	女	1940代	②⑩	なし					●	オ		
345	男	1950代	⑩	なし					●	オ		
346	女	1940代	⑩	なし					●	オ		
347	女	1970代	⑩	なし					●	オ		
348	女	1970代	⑩	なし					●	オ		
349	女	1930代	⑩	なし					●	オ		
350	女	1950代	②⑩	なし					●	オ		
351	男	1950代	⑩	なし					●	オ		
352	女	1940代	⑩	なし					●	オ		
353	男	1940代	②⑩	なし					●	オ		
354	女	1970代	なし	なし					●	オ		
355	女	1930代	⑩	なし					●	オ		
356	女	1950代	⑧	なし					●	オ		
357	男	1960代	⑩	なし					●	オ		
358	男	1970代	⑩	なし					●	オ		

A-2表:調査協力者ごとの一覧表(調査協力者の③の結果)

No.	性別	生年 (西暦)	医学的 所見	疾患名	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内ばく露 あり	エ. 立入・屋内環 境ばく露あり	オ. その他	ばく露歴 分類	経過観察 終了	備考
359	男	1930代	⑩	なし	●					ア		
360	男	1930代	②⑩	なし	●					ア		
361	男	1930代	②⑩	なし	●					ア		
362	女	1940代	②⑩	なし	●		●		●	ア		
363	男	1960代	なし	なし		●				イ		
364	女	1960代	⑨⑩	なし					●	オ		
365	男	1930代	②③	。					●	オ		
366	男	1950代	⑥⑧⑩	なし					●	オ		
367	男	1960代	⑩	なし					●	オ		
368	女	1960代	⑧⑩	なし					●	オ		
369	男	1970代	なし	なし					●	オ		
370	男	1970代	⑤⑩	なし					●	オ		

注1: 医学的所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿関連疾患に関わる①～⑨及び⑩その他の所見を確認する。(重複含む)

- ①胸水貯留が認められる者
- ②胸膜ブランク(限局性の胸膜肥厚斑)が認められる者
- ③びまん性胸膜肥厚が認められる者
- ④胸膜腫瘍の疑いが認められる者
- ⑤胸膜下曲線様陰影の疑いが認められる者
- ⑥肺野の間質影が認められる者
- ⑦円形無気肺が認められる者
- ⑧肺野の腫瘤状陰影が認められる者
- ⑨リンパ節の腫大が認められる者
- ⑩その他の所見が認められる者

注2: 医学的所見を踏まえ、疾患名が確定できるものを分類する。(重複含む。)

- a 中皮腫
- b 肺がん(既往のある者も含む)
- c 石綿肺(石綿に起因するじん肺であって、じん肺管理区分が管理4に該当するもの又は管理2～3で次の合併症(i 肺結核、ii 結核性胸膜炎、iii 続発性気管支炎、iv 続発性気管支拡張症、v 続発性気胸)を伴うもの。)
- d 良性石綿胸水
- e びまん性胸膜肥厚
- f その他の疾患

注3: ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入(ア～オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者や作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)

(「具体的なばく露歴」の記入例)

例1 幼少期(S25-27頃)に石綿工場で遊んだ経験があり、父が石綿工場で勤務していた → ウとエ

例2 石綿工場近くの〇〇小学校にS30-35の6年間通学 → オ

例3 S28-40の間、設備の点検のため石綿工場に定期的に入出入りしていた。かつ、住居が石綿工場に近接(S26-50に〇〇1丁目に居住)していた → イとオ

イとエの分類が紛らわしいものの例:

業務上で吹き付け石綿がある場所や石綿工場の敷地内に立入する場合は、原則「イ」とする。ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注4: ばく露歴分類については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者や作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エに該当しないもの

上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注5: 経過観察終了の欄については、調査終了の場合に「終」とその理由を記入する

注6: 備考欄については、特記事項を記入する

(例1: X線・CT以外の検査を実施した場合の検査項目の記入、例2: 労災申請中である旨の記入等)

(C-2 疾患の有無)

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家族職歴	うち女性	エ.主に 立ち入り	うち女性	オ.その他	うち女性
疾患あり	24	6	7	0	1	0	5	3	1	0	10	3
a 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 肺がん	4	2	1	0	0	0	0	0	1	0	2	2
c 石綿肺	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
d 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e びまん性胸膜肥厚	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
f その他の疾患	16	4	5	0	1	0	3	3	0	0	7	1
疾患なし	334	178	68	15	33	14	53	41	19	7	161	102
合計	358	184	75	15	34	14	58	44	20	7	171	104

(C-3 調査対象者の状況)

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家族職歴	うち女性	エ.主に 立ち入り	うち女性	オ.その他	うち女性
経過観察者	357	183	75	15	34	14	58	44	20	7	170	103
調査終了者	1	1									1	1
合計	358	184	75	15	34	14	58	44	20	7	171	104

注1:①～⑩は重複計上含む a～fは重複計上含む

注2:ばく露歴については、A表で分類したばく露歴分類とする

注3:所見は総合所見を示す

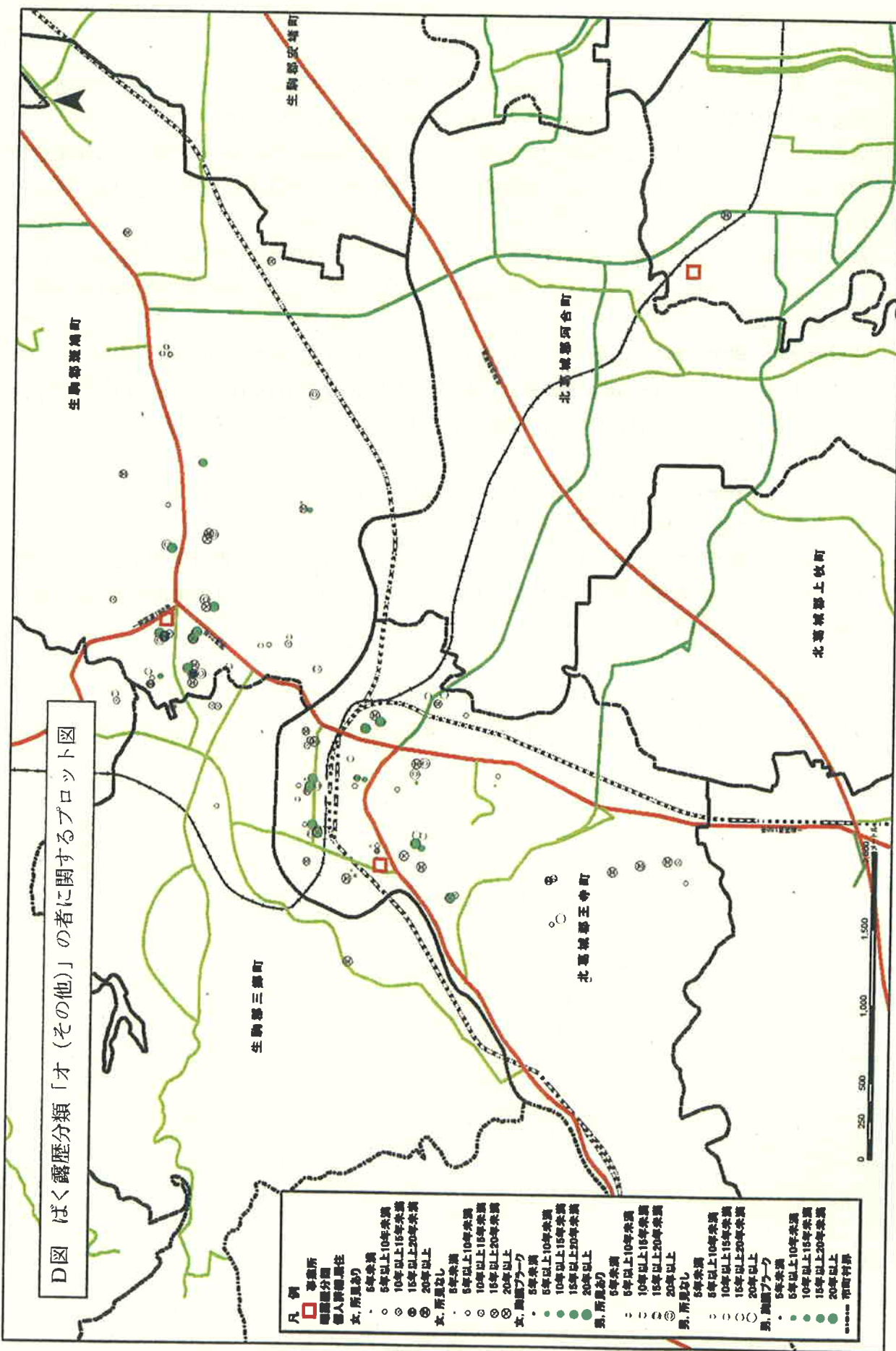
注4:「所見あり」+「所見なし」=「疾患あり」+「疾患なし」=「経過観察者」+「調査終了者」=「合計」

D表 ばく露歴分類が「オ(その他)」の者とプロット数との関係

	王寺町		斑鳩町		三郷町		平群町		広陵町		合計	
	プロット 対象者数	プロット 数	プロット 対象者数	プロット 数	プロット 対象者数	プロット 数	プロット 対象者数	プロット 数	プロット 対象者数	プロット 数	プロット 対象者数	プロット 数
胸膜プラークあり	18	21	17	19	0	0	0	0	0	0	35	40
他の所見あり	12	12	11	11	0	0	0	0	0	0	23	23
所見なし	49	61	37	37	5	6	2	2	2	2	95	108
合 計	79	94	65	67	5	6	2	2	2	2	153	171

※複数地域に居住歴のある者は、それぞれの地域にプロットした。

D図 ばく露歴分類「オ(その他)」の者に関するプロット図



注: □印の事業所については、大気汚染防止法特定粉じん発生施設の設置等の届出施設を掲載した

4. まとめ

上記調査の結果、次のことが確認された。

- 今回の調査対象者 358 名（県外での石綿ばく露と考えられた 12 名を除く）のうち医学的所見のある者が 297 名（83.0%）、疾患ありとされる者が 24 名（6.7%）いた。
- 医学的所見が見られた調査対象者 297 名のうち、石綿に関わる何らかの職業歴や家族職業歴等のある者が 157 名（52.9%）おり、具体的なばく露歴が特定されない者も 140 名（47.1%）いた。
- 医学的所見が見られた調査対象者 297 名のうち、胸膜プラークのある者が 98 名（33.0%）いた。また、疾患ありとされる 24 名のうち、肺がんが 4 名（16.7%）、びまん性胸膜肥厚 3 名（12.5%）、石綿肺が 1 名（4.2%）いた。
- 具体的なばく露歴の特定されない者で医学的所見のあった 140 人の主な所見は、胸膜プラークが 37 例（26.4%）、肺野の腫瘤状陰影 23 例（16.4%）、肺野間質影 16 例（11.4%）、胸膜下曲線様陰影疑い 7 例（5.0%）、リンパ節の腫大 4 例（2.9%）、円形無気肺 3 例（2.1%）、その他の所見 117 例（83.6%）であった。
- 具体的なばく露歴の特定されない者に認められた疾患には、肺がんが 2 名、びまん性胸膜肥厚が 1 名あり、今後、追跡する予定である。
- 具体的なばく露歴の特定されない者 171 名のうち、平成元年以前の奈良県居住が特定出来た 153 名について、その居住歴を地図上にプロットしたところ、171 プロット（複数居住地のあるものは全て記載）になった。

5. 今後の予定

次年度以降も、2. 調査内容(エ)に示したとおり、継続調査を実施する。

・ 問診票

記入日 : 平成 年 月 日

()保健所

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	生年月日	大 ・ 昭 ・ 平 年 月 日生 (満 歳)	
現住所	〒			自宅電話番号	
				(屋間の連絡番号:)	

1. この検診を受けられる理由(きっかけ)は何ですか？

① 「ご自身」がアスベストを扱う事業所で就労していた、又は、自営業をしていた(している)。

② 「家族」がアスベストを扱う事業所で就労していた、又は、自営業をしていた(している)。

③ 「ご自身」がアスベストを扱う事業所の近くに住んでいた(いる)。

※住んでいた(現住所と異なる場合)住所()

④ 「ご自身」がアスベストを扱う事業所の近くで就労していた(いる)。 ※事業所の所在地()

⑤ その他(受診理由:)

6. あなたはたばこを吸いますか？

① 吸わない ② 毎日ではないが、時々吸う ③ 毎日9本以下程度吸う

④ 毎日10本～19本程度吸う ⑤ 毎日20本以上吸う

※喫煙期間(歳 ～ 歳)

精密診断希望医療機関名	
-------------	--

※ 太枠のみ記入してください。（裏面にもあります。）

居住歴（出生時以降）

	住 所	備 考
(記入例) 昭25年から昭31年	○県△市○町××	
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		

○ 全受診者について記入をお願いします。

これまでの通学歴、学校を卒業してから現在に至るまでの職業歴、石綿を扱っていたご家族の現在までの職業歴についてご記入願います。

（在学中のアルバイト、戦時中の仕事など短期間の仕事もできる限り、記入願います。）

① 本人の通学歴

	通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)		通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)
	(記入例) S25. 4～S50. 6	○○小学校	○県△市○町××	4			
1				5			
2				6			
3				7			

② 本人の職歴

従事した時期 (年月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)						
					①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定
(記入例) S25.4～S50.6	〇〇産業(株)	〇県△市 〇町	石綿の吹き付け作業 を担当していた								

通算 年 月

③ 家族の職歴 (当時同居していた家族のうち、石綿を取り扱っていた方のみ記入)

続柄 父・母 兄・姉	従事した 時期 (年 月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)						
						①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定
		〇〇産業(株)	〇県△市 〇町	石綿の吹き付け作業 を担当していた								

続柄 通算 年 月
 続柄 通算 年 月

続柄 父 母 兄 姉	従事した 時期(年 月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)						
						①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定
		〇〇産業(株)	〇県△市 〇町	石綿の吹き付け作業 を担当していた								

続柄 _____ 通算 _____ 年 _____ 月
 続柄 _____ 通算 _____ 年 _____ 月

○ 1に○をつけた場合

受診者の家庭生活等について記入願います(複数回答可)。

- 1 ☐ 石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。 _____ 年)
- 2 ☐ 家族が石綿関連の仕事についており、
 道具や作業着、マスク等を家に持ち帰ったことがある。 _____ 年)
- 3 ☐ 家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。 _____ 年)
- 4 ☐ 石綿工場・鉱山の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。
 [4の地域:
 (都道府県市町村名) _____ 年)
- 5 ☐ 造船所の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。
 [5地域:
 (都道府県市町村名) _____ 年)
- 6 ☐ 倉庫や建築材料の置場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 _____ 年)

6 地域：

(都道府県市町村名)

7 □自動車修理工場の近くに住んでいた、遊んでいたことがある。

年)

7 地域：

(都道府県市町村名)

8 □幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたことがある

年)

8 地域：

(都道府県市町村名)

9 □吹き付け石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある

年)

年)

年)

10 □いずれもない

11 □わからない

○ 5で「ある」にチェックがした場合

現在までに、かかったことがある肺の病気について、ご記入願います。

1 □肺結核

2 □結核性胸膜炎

3 □肺がん

4 □慢性気管支炎

5 □じん肺(石綿肺)

6 □間質性肺炎(肺繊維症)

7 □肺気腫

8 □原因不明の胸膜炎

9 □原因不明の胸水

10 □その他の呼吸器の病気 ()

※職歴に関するチェック項目

【①業種】

1 鉱業

11□ 石綿鉱業

12□ その他の鉱業

2 建設業

21□ 石綿含有製品を取り扱う作業

22□ 石綿含有製品の近傍で行うその他の作業

23□ その他の作業

3 製造業

30□ 石綿製品製造業

31□ 清酒製造業

32□ 化学工業

33□ 石油製品・石炭製品製造業

34 窯業・土石製品製造業

341□ ガラス・同製品製造業

342□ セメント・同製品製造業

343□ 建設用粘土製品製造業（陶磁器製を除く）

344□ 陶磁器・同関連製品製造業

35□ 鉄鋼業

36□ 非鉄金属製造業

（銅・アルミニウム・鉛などの板・合金などを製造）

37□ 金属製品製造業

38□ 一般・輸送用機械器具製造業

39□ 造船業

3a□ 食料品製造業

3b□ 繊維工業

3c□ その他の製造業

4 電気・ガス・熱供給・水道業

41□ 配管・配線取扱い業

42□ 電気業

43□ ガス供給業

44□ 熱供給業

45□ 水道業

5 運輸業

51□ 鉄道業

52□ 道路貨物運送業

53□ 水運業

54□ 倉庫業

55□ 運輸に附帯するサービス業

6 医療、福祉

61□ 医療業

7 サービス業

71□ 廃棄物処理業

72□ 自動車整備業

73□ 機械等修理業

74□ その他の事業サービス業

8 □ 解体業

9 □ その他（具体的に： ）

a □ 不明

b □ なし

【②仕事内容】

1 □ 石綿鉱山での作業、石綿製品の製造に関わる作業 2 □ 石綿や石綿含有岩綿の吹き付け・貼り付け等作業

3 □ 石綿原綿または石綿製品の運搬・倉庫内作業

4 □ 配管・断熱・保温・ボイラー・築炉関連作業

5 □ 造船所内の作業（造船所における事務職含めた全職種） 6 □ 船に乗り込んで行う作業（船員 その他）

7 □ 建築現場の作業（建築現場における事務職を含めた全職種） 8 □ 解体作業（建築物、構造物、石綿含有製品等）

9 □ 港湾での荷役作業

10 □ 発電所・変電所での作業

11 □ 鉄鋼所または鉄鋼製品製造に関わる作業

12 □ 耐熱（耐火）服や耐火手袋等を使用した作業

13 □ 自動車・鉄道車両等を製造・整備・修理・解体する作業 14 □ 自動車・トラック・鉄道等の運行に関わる作業

15 □ ガラス製品製造に関わる作業

16 □ 石油精製工場、化学工場内の精製・製造作業や配管修理等の作業

17 □ 清掃工場・廃棄物の収集・運搬・中間処理・処分の作業

18 □ 電気製品・産業用機械の製造・修理に関わる作業

7 ☐ なし

【⑥職場に吹き付け石綿の部屋の有無】

1 ☐ ある

2 ☐ ない

3 ☐ 不明

【⑦会社で労災認定の有無】 (ある場合は認定年月日)

1 ☐ ある (認定年月日)

2 ☐ ない

3 ☐ 不明

石綿ばく露健康リスク調査専門委員会 委員名簿

所 属 団 体 名	役 職	氏 名	備 考
近畿大学医学部 公衆衛生学教室	教 授	いき まさゆき 伊木 雅之	委員長
奈良県立医科大学 地域健康医学教室	教 授	くるまたに のりお 車谷 典男	
奈良県保健所長会 (奈良県葛城保健所)	所 長	たかぎ まさひろ 高木 正博	
県立奈良病院 内科・呼吸器科	部 長	たけざわ ゆういち 竹澤 祐一	
(社) 奈良県医師会	理 事	たけむら けいじ 竹村 恵史	副委員長
独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター	副院長	たむら もうか 田村 猛夏	
恩賜財団済生会中和病院 内科	部 長	とくやま たけし 徳山 猛	
奈良県立医科大学 第二内科学教室	准教授	はまだ かおる 濱田 薫	
奈良県健康づくりセンター	副所長	ふくい けんいち 福居 健一	
奈良県保健所長会 (奈良県郡山保健所)	所 長	やまだ まさひろ 山田 全啓	

(五十音順)